

第2回安芸高田市学校給食検討会議の概要報告

日 時	平成18年8月21日(月) 13:30~15:30
場 所	安芸高田市教育委員会 2階会議室
出席委員	8名
参考人	市内学校給食センター主任栄養専門員 1名 市内中学校校長 1名

□ 食育と学校給食について

食育

■ 資料提供（農林水産省「我が国の食生活の現状と食育の推進について」）

（ポイント）

○ 栄養バランスの崩れ

～近年の食生活を巡っては、量的に飽和状態にある一方、米の消費減少と畜産物、油脂の消費増加が続き、栄養バランスの崩れがみられる。

○ 食習慣の乱れ

～朝食の欠食は、1回の食事の摂取量が多くなり、過食につながる可能性もあることから肥満等の生活習慣病の発症を助長すること、午前中のエネルギー供給が不十分となり体調が悪くなることなど問題点が多く指摘されており、子どもの頃から朝食をとる習慣づけをしていく必要がある。

○ 食育の必要性

～フードチェーンの多様化・複雑化や家庭等における食の教育力の低下など環境変化の中で、国民個々の自主的な努力に委ねるだけでは健全な食生活の実現は望めない状況がある。このため、国民一人一人が自らの「食」について考える習慣を身につけ、生涯を通じて健全で安心な食生活を実現することができるよう、食品の安全性、食事と疾病との関係、食品の栄養特性やその組み合わせ方、食文化、地域固有の食材等を適切に理解するために必要な全国的な情報提供活動や地域における実践活動等を行う「食育」を推進していくことが重要。

○ 食育基本法

～食育基本法に基づき、食育推進会議の下、食育の推進に関する施策の基本的な方針等を示した「食育推進基本計画」が18年3月に作成。今後は関係府省が一層連携して、食育推進基本計画に基づき食育を国民運動として推進。

■ 学校における食に関する指導（食育）について 資料をもとに学校栄養士より説明

○ 栄養士の研修活動のベースとなっているのは高田教育推進会の部会である。

○ 給食を教材として《地産地消、行事食など給食内容を充実させる》

- ・給食を実際に食べることを通して
- ・生産活動などの産物と給食を関連づけて
- ・給食に使用する食材を使って

○ 給食だよりや試食会などを通じて、学校給食や『食』への理解を深める。

○ 課題として、給食センターに常駐する場合は、学校の動きや子どもたちの実態把握が不十分なこともあり、実態にあわない指導になることもある。

→ 学校との連携体制づくり

→ 「食べ物で体をつくり、食べ方で人をつくる」

- ☆ 完全給食を実施している学校では、地産地消など食育の指導が効果的な面がある。
- ☆ 学校給食を通して食に関する専門性が向上する。

■ データ資料提供（文部科学省「子どもの食生活を取り巻く状況」）

（肥満傾向児の出現率～平成 17 年度学校保健統計調査結果）

（痩身傾向児の出現率～平成 17 年度学校保健統計調査結果

（ポイント）

- 小学生頃から朝食欠食の習慣化が始まっている。
- 子ども（未就学児から中学生）だけで食べる孤食の増加。
- 肥満傾向の子どもの増加。

■ 完全給食未実施の中学校の現状について（ミルク給食校より報告）

- 完全給食実施の場合は時間の確保が問題。（スケジュールがタイトであり、ゆとりが少ない）
- 現在の弁当給食であれば、スケジュールの変更等に柔軟な対応が可能。
- 弁当の場合は、子どもに合った量の調整も可能。
- 教員の休憩時間の確保に努力を要する。
- 給食費の滞納問題も考慮する必要がある。
- 危機管理上、衛生管理がより重要となる。
- 結果として、生徒指導の問題を誘発する可能性がある。
- 食育については、学校・家庭・行政の役割分担が必要。

■ 完全給食実施の中学校の現状について（実施校より報告）

- 保護者も教員も学校給食の教育効果を認めている。
- 安全性や栄養面に配慮した上で、効率的なコストも考えていく必要がある。

< 参考 >

（事前にご意見をいただいた委員 [当日欠席] の考え）

- ★ 成長期にある生徒にとってバランスのとれた学校給食は、とても重要。
- 弁当では脂肪・たんぱく質の過剰、野菜類の不足、穀物からのエネルギー不足などが考えられる。この不足分を朝・夕の 2 食で補うのは大変困難。また、小学校での給食指導や、食に関する指導を自分のものとして具体化していく上で、「生きた教材」としての中学校給食は大切である。

実態調査

■ 学校給食に係る保護者の思いや子どもの実態について

- アンケート調査を実施・分析し、検討材料に活用してはどうか。
- 調査票については、委員の中からワーキングを構成し（案）を練り、次回の検討会議で検討する。
- ワーキングの構成メンバー 5 名を選出。